



前進

第9号

9月30日発行

文責：濱田

育てたい力：共感力・探究力・協働力

◎復興への次のステップ 運動会を頑張りました。

9月26日(日)は、素晴らしい秋空に恵まれました。2年ぶりに、佐敷小学校のグラウンドで運動会を開催することができ、職員・子供たち一同大変うれしい時間を過ごすことができました。

学校行事をとおして子供たちは様々な成長をします。特に運動会は、集団としてのまとまりや協力する態度、最後まであきらめない粘り強さや友だちを応援する心等を育みます。また、6年生にとっては、他の学年をリードし最上級生としての自覚を高める良い機会となります。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、種目を限定したり学年部ごとのプログラムを構成したりするなど、これまでと異なる運動会でしたが、子供たちは全力で競技に取り組みました。

1・2年生の可愛い玉入れ、3・4年生の1位が目まぐるしく入れ替わる団体競技「運を天にまかせて」、5・6年生のメッセージがこもった表現「心を込めて～ Thanks for you」など、それぞれの学年の工夫が見られ、短い時間ながらも充実した運動会になったのではないかと思います。

保護者の皆様には、3部の入替制や2週間前からの検温記録等にご協力いただき、本当にありがとうございました。

2学期、改修済みの校舎で全校一緒の学校生活がスタートし、今回の運動会は佐敷小復興の次のステップになったと思います。いよいよ9月も終わり、今年度の折り返しになります。さらに充実した教育活動が行えるよう、全職員で取り組んでいきます。



◎運動会練習の陰で・・・(頑張った5・6年生)

今年の運動会練習期間は雨の影響を強く受けました。プレハブ校舎の解体後グラウンドの改修が雨の影響でなかなか進まず、運動場が全面的に使えるようになったのは9月15日(水)からでした。また、雨のたびに大きな水たまりができ、土を何回も入れてもなかなか改善しませんでした。

そんな時に大きな力になったのは5・6年生です。先生方の指導の下、最初6年生が溜まった水を汲み取る作業を始めたところ、5年生も一緒になってきびきびと動き、あっという間に整備をしてくれました。おかげで、その日の練習を行うことができました。

実際に外で練習を行うことができたのは3・4日ほどでしたが、短時間で効率的に練習を行い、運動会当日を迎えることができました。運動会を成功させたいという5・6年生の思いは、この整備の行動にも表れていたと思います。

◎ベルマークを寄贈いただきました。

9月16日(木)に、本校のプレハブ校舎でお世話になった大和リース様から3名の方が来校され、社員で集められたベルマーク7221点を寄贈いただきました。本校の教育活動に役立ててほしいとの思いをお話になられました。有効に役立たせていただきます。ありがとうございました。



【校長室から】今回は運動会特集の学校だよりとなりました。紙面には載せていませんが、リーダースタッフの6年生2人が運動会テーマの説明に校長室へ来たときの真剣な姿や、1年生が「5・6年生のダンスがすごかった。ぼくもあんな高学年になりたい。」と感想を記入した場面など、感動的な出来事がたくさんあった9月の日々でした。